

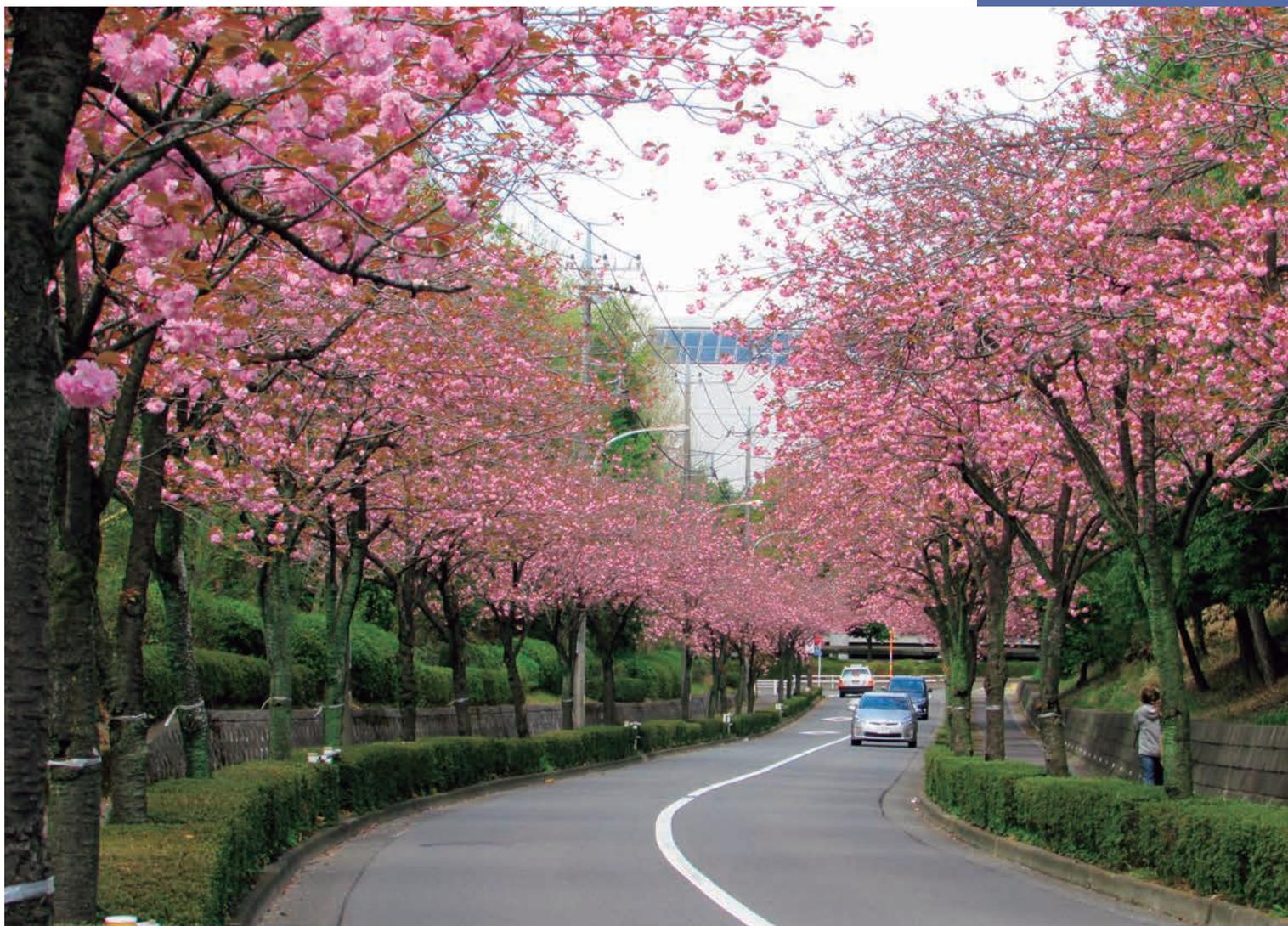
ぐるり39

～自治調査会だより～

2017
4

NO. 043

[発行日]
2017.4.1



【写真提供】多摩市 【撮影場所】西落通り《最終ページでご紹介しています》

- ▶平成 29 年度 自治調査会の主な事業…………… 2
- ▶平成 29 年度 調査研究テーマについて…………… 4
- ▶理事会を開催しました…………… 6
- ▶オール東京 62 市区町村共同事業
 - みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介 …… 7
 - 狛江市 特別緑地保全地区の保護と啓発活動
 - 東大和市 東大和狭山緑地管理事業
 - 三宅村 緑化対策事業
- ▶多摩交流センターだより
 - ・多摩発・遠隔生涯学習講座 4・5 月開催予定の講座案内…… 8
 - ・東京雑学大学 5 月講義案内…………… 8
 - ・イベント紹介…………… 9
 - 奥多摩セラピーウォーク
- ▶編集後記…………… 9
- ▶とっておきスポット～“ココ”ご存じですか?～多摩市 …… 10

Contents

4月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

平成 29 年度 自治調査会の主な事業

平成 29 年度も、当調査会は、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題の調査研究、市町村共同事業の実施・助成等を行うとともに市民交流の推進を図り、市町村の振興に寄与する事業を次のとおり実施します。

1. 調査研究事業

- スポーツを活用した地域活性化に関する調査研究 [複数年調査]
- 多文化共生に向けた地域における国際交流に関する調査研究
- 多様化する働き方を踏まえた職場づくりに関する調査研究
- 多摩・島しょ地域における新地方公会計制度の利活用に関する調査研究
- 多摩地域の市町村による都市農業の保全と振興に関する調査研究
- かゆいところに手が届く! 多摩・島しょ自治体お役立ち情報

※調査研究内容の概要は、本紙 4～5 ページをご覧ください。

2. 実態調査事業

● 多摩地域ごみ実態調査 (毎年度実施)

多摩地域の自治体の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的かつ横断的な統計データを作成します。

● 多摩地域データブック (毎年度実施)

今後のまちづくりや政策形成の基礎資料として、「人口・土地」、「産業」、「都市基盤」など主要分野の統計データ集を作成します。

● 市町村税政参考資料・市町村財政力分析指標 (毎年度実施)

多摩・島しょ地域市町村における財政力指数、経常収支比率、公債費比率等の分析指標及び市町村民税などの調定収入状況等のデータを作成します。

3. 共同事業

(1) 39 市町村共同事業

東京都市長会・東京都町村会と連携し、「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」、「多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業」及び「多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業」を実施します。

(2) オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

都内 62 市区町村が、東京のみどりの保全や温室効果ガス削減への取組において連携・共同し、市区町村や地域の特性に応じた自然環境保護、温暖化防止対策の推進を図るため、次ページの事業を特別区長会・東京都市長会・東京都町村会・(公財) 特別区協議会とともに実施します。

(3) 協賛事業

島しょ地域の子どもたちを対象に実施される「愛らんどリーグ (サッカー大会)」等に協賛します。

4. 普及啓発事業

機関紙「ぐるり 39 ～自治調査会だより～」やホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) などを利用して当調査会の活動内容を周知するとともに、多摩・島しょ地域に関する情報を発信します。

また、調査研究の成果などを広く周知するために、シンポジウムを開催するとともに、平成 28 年度に実施した調査研究について、多摩・島しょ地域の市町村に出向いて職員向けに調査研究結果のプレゼンテーションを行う出張

フォーラムを実施します。

さらに、市町村職員に向けた行政課題に関する情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」を発行します。

5. 広域的な市民活動支援

(1) 交流の場の提供事業

会議室、市民交流・資料室などの施設・設備を持つ多摩交流センターにおいて、広域的に市民活動を行っている団体に、会議室及び機器類などを提供します。

(2) 助成事業

①事業助成

市町村のワクを越えた広域的市民ネットワークを形成している団体が実施する地域づくり、まちづくりにつながる活動や、市民団体が主体的に取り組んでいる西多摩地域の振興活動に対し、経費の一部を助成します。

②活動支援

広域的な市民ネットワーク活動を新たに行いたい、発展させたい市民団体に対し、経費の一部を助成します。

(3) 共催等事業

多摩地域の広域的な市民の交流や新しい生涯教育の推進を図るため、市民団体等と共催し、TAMA市民塾、多摩の歴史講座、インターネット放送による多摩発・遠隔生涯学習講座、TAMAとことん討論会などの事業を実施します。

(4) 情報発信事業

- 多摩地域に関する各種の情報を収集し、多摩交流センター市民交流・資料室において、配架・提供します。
- 機関紙「ぐるり39 ～自治調査会だより～」やホームページで、多摩交流センターに係る情報を発信します。
- 「TAMAらいふ21」に関する記録や資料などを公開します。



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

平成29年度 事業概要

①共同事業普及・啓発 ～物品配布から成果の共有まで～	○環境負荷低減活動など、当共同事業の普及・啓発を行うため、啓発物品(グリーンカーテン用のタネなど)の配布等を行います。 ○62市区町村の「グリーンカーテンコンテスト」などの事業の推奨を図ります。
②標準算定手法による 温室効果ガス排出量 算定の共有化推進	○62市区町村共通の標準算定手法により、温室効果ガスの排出量を算定して公表し、市区町村の環境計画等の基礎データとして情報提供します。 ○市区町村ごとのデータの分析を積み重ねていきます。
③各団体の実施する 事業との連携	○62市区町村が実施する環境事業に、各市区町村あたり100万円を限度として助成します。 ○各自治体の成果をホームページ「ECOネット東京62」(http://all62.jp/)でPRしていきます。
④エコプロへの出展	○当共同事業及び市区町村が実施している環境施策等の普及・啓発を図るため、日本最大級の環境展示会「エコプロ」へ出展します。
⑤生物多様性の保全 に関する研究	○生物多様性についての最新の知見を取り入れた研究等により、市区町村の「生物多様性地域戦略」策定を支援するとともに、積極的に自治体間の情報共有の場を設定します。
⑥ホームページの維持管理・コンテンツの充実	○ホームページ「ECOネット東京62」(http://all62.jp/)において、各市区町村の環境施策の紹介、国内外の最新情報等を掲載し、当共同事業を普及・啓発していきます。
⑦みどり東京フォトコンテストの実施	○東京の自然の美しさを再認識し、みどり保全に関する意識向上を図るため、東京の自然をテーマにフォトコンテストを実施します。上位入賞作品を題材としたカレンダーを作成・配布し、当共同事業の趣旨を広く普及・啓発していきます。

平成29年度

調査研究テーマについて

当調査会では、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通的課題を中心に、年度ごとにテーマを複数選定して調査研究を実施しています。各年度の調査研究報告書は、多摩・島しょ地域の市町村などに配布するとともに、ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp>) にも掲載し公開しています。

平成29年度は5件の調査研究を実施することを予定しており、今回はその概要を紹介します。

スポーツを活用した地域活性化に関する調査研究 [複数年調査]

平成28年度実施の「多摩・島しょ地域におけるスポーツを活用した地域活性化に関する調査研究～スポーツコミッションの機能に着目して～」では、多摩・島しょ地域自治体の課題や規模、資源に応じた組織として「スポーツコミッション」について研究し、スポーツの持つ様々な効用を総合的なまちづくりにつなげていく推進体制のあり方を提言しました。平成29年度は、この提言の中から2年目調査研究（複数年調査）として、市町村が施策として実現していくためのモデル自治体（地域）を選定します。その上で、検討会（仮称）を設置して市町村職員や有識者の意見を取り入れる方式（予定）で、実践的にスポーツを地域活性化に活かすための組織のあり方を提示します。

多文化共生に向けた地域における国際交流に関する調査研究

日本における外国人滞在者数は、旅行者だけでなく生活者、勤労者としても増加しています。そのため、外国人と日本人との接点は、地域における住民同士としてのほか、介護現場等でも増える可能性があります。今後はこうした状況を踏まえ、日本人と外国人の相互理解を深めることが重要です。本調査研究では、異文化理解を深める地域住民生活に密着した「国際化」の取組について効果的施策を進めていくための方向性を提示します。また、都内を訪問した外国人旅行者が平成27年には1千万人を超え、さらに増加が予想される2020年東京オリンピック・パラリンピックを3年後に控えて、インバウンド観光施策の更なる推進についても提案します。

多様化する働き方を踏まえた職場づくりに関する調査研究

地方自治体では、女性職員の活躍を推進する具体策や環境整備が求められています。しかし、本格的な高齢社会の到来による要介護者の増加、男性の子育て参加、ワークライフバランスを重視する働き方の浸透など、職場を取り巻く環境が大きく変化する中で、従来の「働き方」を維持することが難しくなることが予想されます。そのため、女性はもとより、多様な人々も含めた「働き方」の見直しが必要となっています。本調査研究では、様々な時間的制約がある中での「働き方」を前提とした「多様な働き方」のあり方と、これを可能にする職場環境の整備等について調査を行い、様々な条件を抱えた職員が支障なく働くことのできる方策について提言します。

多摩・島しょ地域における新地方公会計制度の利活用に関する調査研究

本格的な人口減少社会の到来で税収減と社会保障費の負担増が現実視される中、老朽化した公共施設やインフラの更新費用が自治体の財政に影響を与えつつあります。財源を有効に使うためには、今後、人口増加時代の経営方針を時代にマッチしたものへと転換することが強く求められています。総務省も、平成29年度末までに全国の自治体に対して「新地方公会計制度」の導入を要請し、企業会計的手法を取り入れることとしました。本調査研究では、「新地方公会計制度」の利活用の方法論を提示し、多摩・島しょ地域の自治体の適切な行政運営、さらにまちづくりにつながる政策提言を行います。

多摩地域の市町村による都市農業の保全と振興に関する調査研究

都市農業は、農産物の供給を始めとして多様な機能を有しています。こうした機能を適切かつ十分に発揮すべきとして、平成27年4月に「都市農業振興基本法」が、平成28年5月には「都市農業振興基本計画」が策定され、自治体に都市農業の保全と振興が義務付けられました。一方、生産緑地法における「2022年問題」で、大量の農地の宅地化を危惧する声が上がするなど、都市農業の保全対策は喫緊の課題になっています。また、東京都全体の食糧自給率は、平成25年度時点で、カロリーベースで1%、生産ベースで4%※と突出して低く、災害等有事の際の食料不足を懸念せざるを得ない状況です。こうした状況を踏まえて本調査研究では、多摩地域の基礎自治体が農業の保全と振興のために取り組むべき施策について検討します。

※農林水産省「都道府県別食料自給率について」（平成29年2月7日農林水産省HP確認）

その他の調査

当調査会では、上記の単年度調査研究に加え、多摩地域の市町村における行財政運営の参考となるように、各種統計資料を毎年度作成しています。

平成29年度についても、以下のデータ集を作成し、上記の調査研究と同様に配布・公開する予定です。

○多摩地域ごみ実態調査

多摩地域の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的な統計データ集を作成します。

○多摩地域データブック

今後のまちづくりや政策形成など行政運営上の基礎資料として、「人口・土地」「産業」「都市基盤」など主要な統計データ集を作成します。

○税・財政参考資料

39市町村における、財政力指数・公債費比率・経常収支比率等の分析指標及び市町村税徴収実績等のデータ集を作成します。

理事会を開催しました

平成29年2月27日(月)に、平成28年度第4回理事会を東京自治会館で開催しました。今回の理事会で決議された主な内容について紹介します。

なお、4月1日現在の理事・監事・評議員は下記のとおりです。



1. 平成29年度事業計画及び収支予算

「市町村の行財政等に関する調査研究」や「市町村共同事業の実施及び支援」、「広域的市民活動への支援(多摩交流センター事業)」などの事業計画及び収支予算が承認・決定されました。事業内容については、本紙2~3ページをご覧ください。

2. 諸規則の改正

就業規則の改正を含む2件を提案し、それぞれ原案のとおり承認・決定されました。

3. 役員・評議員(平成29年4月1日現在)

【役員】

役職	氏名	所属
理事長	並木 心	羽村市長
副理事長	河村 文夫	奥多摩町長
常務理事	岸上 隆	東京都市長会事務局長
理事	石森 孝志	八王子市長
理事	清水 庄平	立川市長
理事	高野 律雄	府中市市長
理事	渋谷 金太郎	清瀬市長
理事	高橋 勝浩	稲城市市長
理事	橋本 聖二	日の出町長
理事	前田 福夫	利島村長
監事	邑上 守正	武蔵野市長
監事	坂本 義次	檜原村長

【評議員】

役職	氏名	所属
評議員	清原 慶子	三鷹市長
評議員	長友 貴樹	調布市長
評議員	石阪 丈一	町田市市長
評議員	小林 正則	小平市長
評議員	大坪 冬彦	日野市長
評議員	井澤 邦夫	国分寺市長
評議員	高橋 都彦	狛江市市長
評議員	尾崎 保夫	東大和市市長
評議員	並木 克巳	東久留米市長
評議員	丸山 浩一	西東京市長
評議員	青沼 邦和	新島村長
評議員	浜川 謙夫	神津島村長
評議員	山下 奉也	八丈町長



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ



かれん



1 狛江市

特別緑地保全地区の保護と啓発活動

狛江駅北口を出るとすぐに、「狛江弁財天池特別緑地保全地区」と呼ばれる良好な自然環境を有する緑地が目の前に広がり、四季折々の自然を楽しむことができます。

広さ約2.1haの貴重な緑地には、多くの竹が高くそびえ、美しい竹林を形成しているほか、様々な植物や鳥類、昆虫類などが生息しています。この緑地を後世に残したいという市民の思いから、普段は閉鎖して、市民団体が清掃や草刈り等を行っています。また、毎月1回は開放日を設け、自然観察会等を通して自然保護の大切さを伝えるとともに、啓発活動に取り組んでいます。

【問合せ先】 狛江市 環境政策課 TEL:03-3430-1111



2 東大和市

東大和狭山緑地管理事業

市の北部に位置する狭山緑地は、市民のやすらぎの場、憩いの場として昭和60年に開園しました。市のシンボルである狭山緑地の緑を市民とともに将来にわたって適切に保全し、豊かな自然を次世代の人々に引き継ぐことを目的に、東大和市では緑地内の見回り、木道の修繕、倒木や枯枝の処理などの管理事業を行っています。

狭山緑地は、植物や昆虫類、鳥類などが身近に観察できる貴重な緑地です。学校教育の場としても活用しており、市内各小学校の児童たちが、五感を使った体験を通じて自然と人間の関わり大切さと楽しさを学習しています。

【問合せ先】 東大和市 環境課 TEL:042-563-2111



3 三宅村

緑化対策事業

東京より南に約180km、伊豆諸島にある三宅島は、平成12年に島中央部にある雄山が噴火し、島民が全島避難を余儀なくされました。平成17年に全島避難が解除されるまでの間、雄山から噴出する火山ガスによって、島の全森林の60%にあたる約2,500haの森林が枯れてしまいました。

三宅島では島民の帰島後、ボランティア団体の協力等により緑化活動に取り組み、村独自の事業として緑化対策事業を行い、1万本の木を雄山周辺に植林しました。樹種は島の環境に強く、古くからあり、島で育てた苗木としてタブとスダジイの二種類を植林しました。

【問合せ先】 三宅村 企画財政課 TEL:04994-5-0988





多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催

後援：武蔵野市教育委員会



4・5月開催予定の講座案内

158回

題名

作家 遠藤周作・曾野綾子と聖地を歩いて～日本に影響を与えたユダヤ・キリスト教

日時 平成29年4月13日(木) 14:30から約1時間

講師 シモン 中村 ^{はるお} 青生 氏(イスラエル研究家)

内容 1964年の東京オリンピックから約10年間、私はエルサレムの大学で聖書考古学を学んでいました。その間、作家の遠藤周作氏が「死海のほとり」の取材で、三浦朱門・曾野綾子夫妻等、多くの方々と連れて何度か来られました。さて、日本ではChristmasの大騒ぎから大晦日・正月を祝いますが、欧米ではなぜMerry Christmas & A Happy New Year と8日間を祝すのでしょうか？このような疑問に答えながらイエスの足跡をたどっていきます。

159回

題名 日航機御巣鷹山事故を憶えていますか～その教訓と航空安全 日時 平成29年5月11日(木) 14:30から約1時間

講師 北村 行孝 氏(NPO法人航空・鉄道安全推進機構理事、元東京農業大学教授、元読売新聞社論説委員・科学部長)

○受講料 無料(ただし資料代100円)

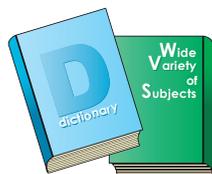
○メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)

○サテライト会場 武蔵野市かたらいの道

○ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成29年5月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は5月11日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1085回	5月4日(木・祝) 14:00から	防災を考える(仮題)	小川 雄二郎 氏 (元アジア防災センター所長、 元富士常葉大学教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1086回 ※	5月11日(木) 14:30から	日航機御巣鷹山事故を憶えていますか ～その教訓と航空安全	北村 行孝 氏 (NPO法人航空・鉄道安全推進機構理事、 元東京農業大学教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1087回	5月18日(木) 14:00から	日本の伝統芸能と 神道に見る身体表現	はなやぎ みちかおる 花柳 迪薫 氏 (日本舞踊家、花柳流師範)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1088回	5月25日(木) 14:00から	取材する心～研究所めぐり	多田 ^{とういち} 統一 氏 (元全国教職員文芸協会会長)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1086回は、第159回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

イベント紹介

奥多摩セラピーウォーク

- 日 時** 平成29年4月29日（土・祝）
- 受付時間** 9：00～11：00（荒天の場合中止あり）
- 受付場所** 奥多摩駅前
- コース** JR奥多摩駅～奥多摩むかしみち～奥多摩湖（10km 4時間）
- 内 容** 奥多摩むかしみちは、都内で初めて森林セラピー基地として認定された奥多摩町にある5つのセラピーロードのうちの1つで、今も随所に昔のままの姿が残されています。奥多摩駅をスタートし、昔をしのびながらゴールである奥多摩湖をめざし、新緑あふれる奥多摩の自然を満喫できるコースです。コース途中での奥多摩名人・達人ガイドたちによる名所案内、ゴールとなる奥多摩湖では物産展とクラフトフェアも開催され、参加者にはあわせて楽しんでいただけます。
- 参加費** 500円（受付時に支払い、保険料含む）
- 主催** 奥多摩セラピーウォーク実行委員会
- 問合せ** 奥多摩セラピーウォーク実行委員会事務局（奥多摩町役場観光産業課内）
TEL 0428-83-2295 FAX 0428-83-2344
ホームページアドレス <http://www.town.okutama.tokyo.jp>



「多摩交流センターだより」の問合せ先

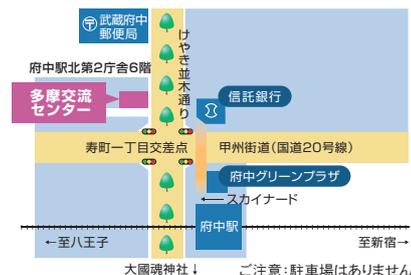
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 桜前線の北上とともに、東京も春爛漫となり、心浮き立つ4月を迎えました。皆様の職場や地域をはじめ、当調査会でも、新しいメンバーとともに、新年度がスタートしました。
- 当調査会は、昨年10月に設立30周年を迎えました。これを記念し、これまでの取組や実績、有識者による今後の展望等を掲載した「未来への道しるべ（設立30周年記念誌）」を製作しました。当調査会ホームページに掲載しますので、ぜひご覧いただきたいと思います。
- さて、先日、都立井の頭恩賜公園内にある井の頭池のかいぼり事業報告会を聞く機会がありました。「かいぼり（掻い堀り）」とは、池の水を汲み出して干すことです。この事業は、井の頭恩賜公園が、本年5月に開園100周年を迎えるにあたり、井の頭池の水質改善と外来種の防除により自然再生を行い、次世代に自然の恵みを伝承しようという取組です。
- 今回のかいぼりにより、絶滅危惧種1類とされている「イノカシラフラスコモ」が60年ぶりに復活したことが



大きな成果として挙げられました。

- また、ブルーギル、オオクチバス等の外来種の駆除により、モツゴ、スジエビ等の在来種が増加したことや、カイツブリ等の水鳥も増えたという報告がありました。
- このように大きな成果をあげることができた背景には、地元自治体をはじめ、市民団体や市民ボランティア等、多くの主体による協働があったからだと考えられます。多くの人の手により、自然が再生され、そこに住もう人、訪れる人に愛される地域が醸成されていくものと思います。
- 本紙記事3ページで紹介のとおり、当調査会は、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を実施しています。その一つに「生物多様性の保全に関する研究」があり、本年度も、研究活動とその成果報告を通じて、各自治体の生態系の維持・保全を支援してまいります。
- 併せて、都内市町村の広域的かつ共通の課題についての調査研究や広域的な市民活動への支援を行い、多摩・島しょ地域の自治の振興を図り、住民福祉のさらなる向上に寄与していきたいと思っております。
- 本年度もどうぞよろしくお願いいたします。（M.M）



とっておきスポット

第31回 多摩市

“ココ”
ご存じ
ですか?

多摩市といえば、サンリオピューロランドを連想するかもしれないけど、
今回はわたげのボクが「遊歩道沿いの桜」を紹介するよ。

桜の季節だね。市の花が「ヤマザクラ」の多摩市には、桜の名所がたくさんあるんだ。市内のおすすめ桜スポットや開花状況は、多摩市公式ホームページでも随時お知らせしてるんだよ。

また、多摩市には全長約41kmもある日本一長い遊歩道があって、モデルコースは車道を一切横断せずに、約8kmも歩き続けられるんだ。

そこで今回は、遊歩道でつながる多摩市内の桜スポットを紹介するよ。マナーを守って桜を楽しんでほしいな。みなさんもぜひ、ふわっと行ってみたい！



⑦ 鶴牧西公園

この公園では、市の天然記念物に指定されているシダレザクラを見ることができるよ。



⑧ 乞田川沿いの桜

乞田川の両側約3kmに渡って500本以上の桜が咲き誇るよ。遠くまで続く桜並木は圧巻の美しさなんだ。



① 都立桜ヶ丘公園

公園の広さと自然の豊かさは多摩市で一番。旧多摩聖蹟記念館の周りにはヤマザクラなども咲いていて、多くの花見客で毎年賑わってるよ。



② 諏訪南公園

見応えある大きな桜の木々が、グラウンドの外周を縁取るように咲き誇るんだ。



③ 永山さくら通り

多摩ニュータウンの入居が始まった頃に植えられた桜が、今では立派な太い木に育って、満開時にはまさに桜のトンネルみたいだよ。



⑤ 宝野公園 ⑥ 奈良原公園

多摩センター駅から歩行者自転車専用道路を南に歩いて15分。⑤と⑥の公園を結ぶ富士見通りは、芝生の広場の両脇に約380本の桜が咲くんだ。天気の良い日には、奈良原公園から富士山が見えるかも。シートとお弁当を持って行くといいよ。

④ 西落通り

ソメイヨシノやヤマザクラより開花時期が1~2週間遅いヤエザクラ100本以上が、表紙写真のようにきれいに咲き誇るんだよ。

【情報・写真提供】多摩市市民経済部経済観光課 TEL 042-338-6867

【発行日】平成29年4月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。